



SHIMOHAJI

CAMP & CAFE

しもはじ埴輪キャンプ場 & 納屋カフェ ・通信
2025年3月号 <No.2 >

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師1821
キャンプ場：070-3997-3865
納屋カフェ：090-5758-8160



エシカル消費～味噌づくり体験

SAVE JAPAN PROJECT



2月2日(日)、しもはじエリアで『SAVE JAPAN 2025』の「里山の生態系を守るエシカル消費でネイチャーポジティブを目指そう」というイベントが行なわれました。天候が悪かったために里山ウォーキングは中止になりましたが、発酵ランチ、味噌づくり体験は実施しました。

茨城大学の石島恵美子教授による「生物多様性とエシカル消費」の講演は納屋カフェで行なわれました。エシカル(倫理的・道徳的)消費というのは、地域の活性化や雇用などを含む、人・

社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと。地元で食材を作り、それをできるだけ無駄なく消費につなげていく取り組みです。しもはじを拠点に活動する「NPO環～WA」は、地元産のたのくろ豆を作り、農薬を使わない米づくりに取り組んでいます。

今回のイベントでは、石島教授と納屋カフェシェフのコラボによる「発酵ランチ」が参加者に提供されました。できるだけ地元産の食材を使い、発酵食品をメインに使ったランチボックスはとても好評でした。

午後に行なわれた「味噌づくり」は、大釜で煮た大豆と糨、塩を混ぜ、丈夫なビニール袋に入れて各自が手をつぶすという方法で行ないました。よくつぶした味噌は「玉」にして空気を抜き、容器に納めました。味噌を手作りしていく過程をリアルに感じることができ、参加した方からは「これが自分の味噌になっていくのが楽しみです」という声が聞かれました。



写真上：味噌玉を作って、たるに詰めていく。
写真下：石島教授とみかシェフによる発酵ランチ



空師が樹木を伐採

キャンプ場のキッズ広場の近くに高い樫の木がありました。高さは40m近く。高いところで枝が分れていたため、樹林側に倒れると周囲の針葉樹に引っかかって厄介になることが確実。

そこで、空師に依頼して切り詰めることにしました。空師というのはクレーンなどの重機が使えない伐採を直接木に登って処理を行なう「特殊伐採」のプロです。

2月22日(日)、午前には作業は行なわれました。先に重りを付けた細いロープを投げて枝に架け、その細いロープを使って太いザイル(ロープ)にしました。そして、ツリーク

ライミングの技法で空師が登っていきます。チェーンソーもロープを使って上げました。

そして、下の太い枝から切断していきました。もちろん、空師自身の安全に注意を払い、見事に次々と枝を落としていきました。最後には太い幹の途中から伐倒。依頼通りの高さに切り詰められました。

しいたけの種駒打ち体験

しもはじしいたけ会員

「しいたけ原木のオーナーになろう」という企画が始まりました。樹林で行なっているしいたけ作りを、会員になって収穫を楽しもうという初の試みです。

2月11日(火)は、里山で倒されたコナラやクヌギを運んで来て、種駒打ちをする活動でした。電動ドリルで原木に穴を空け、そこに種駒を打ち込みます。子どもたちも木槌を手に、楽しそうに作業をしていました。

22日(土)は種駒打ちからスタート。そのあと原木=ほだ木は「仮伏せ」にしました。これは打ち込んだ種駒の乾燥を防ぐための保温、保湿が目的。

そして5月のGWの頃に会員の皆さんと「本伏せ」を行ないます。これはしいたけの菌糸を原木の中に蔓延させること。大事な作業です。

今回種駒を打ち込んだほだ木から、実際にしいたけが出るには1年半から2年かかります。その間、オーナーとなった方のほだ木はしもはじが管理します。そして、しいたけの発生

が始まった時に会員の皆さんにお知らせするシステムです。オーナーさんのほだ木のしいたけは会員様のものになります。すぐに結果が出るものではないところが、この「しいたけ会員」の気長な楽しみというわけです。



写真左：原木となるのなら、くぬぎを運び出す子どもたち。

写真中：子どもも木槌で種駒打ちです。

写真右：ドリルで開けた穴にしいたけの種駒を打ち込みます。

ソロキャン・デビューからの自立キャンプ

キャンプ場で勤めている「ソロキャン・デビュープラン」。テントからタープ、焚き火台、シュラフなどソロキャンに必要なあれこれを借りることができて格安のプラン。しかもベテランのスタッフがアドバイスをするので、初心者でも大丈夫です。

1月に、食材だけを持参して、そのプランを利用した男性が、2月に再訪しました。今度は自前のキャンプ用具をそろえて来ました。

テントの上にタープを張る通称「オガワ張り」も見事。焚き火台もローチェアもそろえていました。

前回アドバイスをしたスタッフが尋ねたところ、「全部で10万円くらい使っちゃいました」とのことでした。

しもはじのキャンプ場でソロ・キャンを体感し、わずかな期間でしっかりと「ソロキャンパー」に変身。

「また、絶対に来ます！」

こういうキャンパーが育ってくれるのは実にうれしいことです。

キャンプ初心者には見えない自分サイト作り。

